

治療家と治療家をめざす人のための 鍼灸・手技療法専門マガジン

月刊

Vol.27

2016. 10.15

求人情報掲載

毎月15日発行

TAKE FREE

¥0

温故

[ONKO-CHISHIN]

知新



「温故知新」
の情報はこちら
のサイトから



特集

『食』から考える『未病』

イベントレポート

OCS 主催「腰痛の新しい概念と鍼灸療法セミナー」

イトウメディカル主催「松野祥生先生・岡西裕幸先生コラボセミナー」

pickup!

サイモンプレミアムテープ・驚きの実態!?

連載記事

鍼灸大航海時代「世界の鍼灸事情を知る上での SNS 活用術」／伊藤 学

目からウロコの物理学的経絡治療「動きの中で経絡の“伸び縮”をイメージする」／岡西 裕幸

鍼灸師のための経穴デザイン入門「即効性のある治療をするためのヒント」／栗原 誠

スペシャル対談「“モノ”に抗酸化力を求めるよりも“水”が一番」／林 健司 × 河村宗典

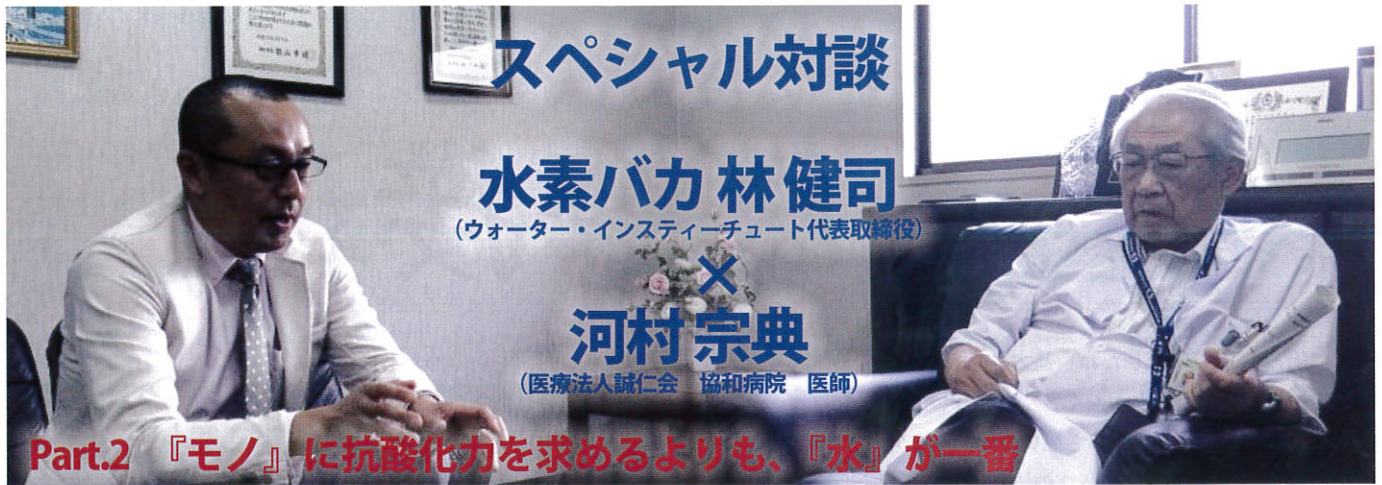
医療接遇「対応力～前編～」／上石 優子

柔整師は現場経験が命「患者さんに“何を”提供していますか？」／山田 敬一

北埔便り 台湾の長寿村から「番外編 羅東出張」／村尾 則広



セラピスト・リーダーズ・カレッジ Presents,



スペシャル対談

水素バカ 林健司

(ウォーター・インスティテュート代表取締役)

河村宗典

(医療法人誠仁会 協和病院 医師)

Part.2 『モノ』に抗酸化力を求めるよりも、『水』が一番

(前回からの続き)

林： 医師としてのキャリアが長くなればなるほど、若いお医者さんに「何を青臭いこと言っとるんだ！」と言ってしまふことも…？

河村： そうそう。しまいには「良くもあんな青臭いことを言っていたな」と自分で思うようになる。でも林先生は、病院に所属したことがほとんどないから、ずっと最期まで若い時のまま。

林： だからこそ、暴れられたんでしょうね（笑）でも僕は、河村先生も一緒に見えるんですが…

河村： 私はねそういうアマノジャク的なことが好きなんだよね。私や林先生は、ちゃんとした病院の中で、やっていくような医者じゃない。

林： 周りからの反発は、ないですか？

河村： 反発されても、わからん人たちだと思ってますね。それに誰も、反発するだけの材料は持ってないですよ。私に面と向かって反発した医者は、同級生でもほとんどいない。ただ林先生は、反発されると「パーツ」といっちゃって、「バカもーん！」ってやっちゃってたけどね（笑）

林： 「お前らがニセ医者だー！」って。

河村： そうそうそう！（一同笑い）

林： 河村先生が以前仰った「医者じゃなくても、みんな医療人」って言葉、僕の心にずっと残っていて、「自分が出来る事ってなんだろう？」って、数ヶ月間ずっと考えていたんです。水素水だけで、すべてできるわけではない。適切な治療も大事、食も大事、環境も大事、もちろん精神的なこともすごく大事。だから僕のような一般人が声を発するだけではなくて、例えば今の西洋医学の中では異端である、河村先生のようなお医者さん、『温故知新』に関わる東洋医学に精通されている方、治療家、食のアドバイザー、人を元気にしたいか方々の手を結ばせることはできないかなと。

河村： この水はね、医療じゃないですから。医療じゃなくて、もっとね、

もっと深いところだから。患者さんはね、医療の程度なんか良くわかっておられるんです。医者だからこういうこと言うんだろうけど、本当は自分に寄り添ってくれる医者が欲しい。この水はね、それが出来る。寄り添える。オールマイティだから、掛け値なし！

林： 河村先生、仰ってましたものね。水を健康のジャンルに収めるのが、そもそも間違いだと。

河村： そうなんです、病気選ばず、健康な人でも何でも来い！水素水は、今生きている人のため、普通に生活している人みんなに必要。必要だとわかったら欲しくなるんだろうけれど、わかってないからね。でも、この『水素水ブーム』で、水素水って言葉がね、かえって人を迷わしている。私は『還元』って言葉だけでも、みんなが知っていくことが良いと思ってね。

林： そうですね。みんな『酸化』って言葉は知っていても、反対語の『還元』は、あまり馴染みがない。言葉自体も難しいですね。

河村： 『酸化』がけっして悪いわけではない。『酸化と還元』は裏表の関係で、同時に起こっていることだから。『酸化』の結果出てきた『活性酸素』による極端な酸化が悪いわけであって、『酸化』がなかったら人間は生きていけない。酸素の力を利用しているわけですから。みんな『酸化力』を使って呼吸して、生命代謝を営んで、結果、どうしても出てくる『活性酸素』を消すことができる生物として、もともと生まれてきた。消せて当たり前だったのが、消しきれなくなった。そこで、『活性酸素』に対応しなくてはいけなくなった。その対応の仕方が、薬や、抗酸化物質。今は色んなモノが出ているけど、昔はそれすらもみんな気付かなかった。今頃、抗酸化力を持った薬をつくらにやいかんと製薬会社も目をつけた。だけどそういう『モノ』に抗酸化力を求めるよりも、『水』が一番、絶体必須のものだから。必須な『水』が還元力を持っていたら、もう、これ以上文句ないでしょ、むちゃくちゃ楽。

林： 『モノ』は、酸化すれば結局それが溜まる。でも『水』は、いくら酸化しても、結局『水』に戻るわけですからね。

次号に続く